

第21回全国川サミット in 取手

共同宣言

利根川は群馬県みなかみ町の大水上山に発し、いくつもの支川を合わせ、千葉県野田市で江戸川を分派し、大河になって銚子沖の太平洋に注ぎます。古くから「坂東太郎」と呼ばれ親しまれ、その幹川流路延長は日本第2位、流域面積は日本最大の川です。

「第21回全国川サミット in 取手」は大河利根川と小貝川の合流する取手市を会場に、「川とつながる私たち ～水・命・文化・そして夢と未来～」をテーマに開催しました。

古来より多彩な歴史や文化を育み、さまざまな生物が生息する貴重な空間を提供し、豊かな水と緑によって市民にうるおいとやすらぎをもたらしてきた恩恵を再認識し、自然環境の保全と地域づくりに取り組んでいくことを誓い、ここに宣言します。

- わたしたちは、みんなが安心して生活できる防災のまちづくり、川づくりに努めます。
- わたしたちは、未来を担う子どもたちが、様々な活動を通して、人間のいのちの源となる水を育む地域であることを学びます。
- わたしたちは、流域行政と地域住民が互いに力を合わせ、川がもたらした歴史や文化を大切にする地域づくりに取り組みます。
- わたしたちは、多くの生物が生息する自然豊かな川づくりと、みんながうるおいと安らぎを感じる環境づくりに取り組みます。
- わたしたちは、川とともに生きる自治体どうしのつながりを深め、川と育む未来を目指し、活動の場を広げます。

平成24年10月14日

第21回全国川サミット in 取手参加者一同